



グループ・キーワード	取組状況			担当部局名	資料番号
	項目	内容	R7予算額 (千円)		
都市ブランド・観光					
観光	函館山夜景魅力度向上事業	函館山山頂の混雑を緩和し回遊性を高めるため、R6年度は展望台以外の箇所にライトアップを施す実証実験を実施。R7年度は山頂の整備に向けた測量調査・地質調査を実施予定。	8,500	観光部・土木部	7-1
	オーバーツーリズム対策事業	R6年度に函館山の主要スポットにカメラを設置し、ネットやデジタルサイネージで混雑状況を配信。R7年度は周辺のライトアップ施設や飲食店等を紹介する機能の追加などを実施予定。	7,451	観光部	
	グレーター函館（広域連携）の推進	新函館北斗駅周辺地域の5市町村および交通事業者等による協議会で、地域が保有する観光資源、地域資源を活用し、宣伝誘客および広域観光の振興に取り組んでいる（周遊パスの企画・販売など）	5,333		土木部
	湯の川温泉の再興	湯の川温泉エリアプロモーション （ショート動画の配信、コンテンツ拡充） 湯の川地区活性化推進事業	5,000	393,000	
景観・街並み	歴史的建造物等保全・活用推進事業 西部地区再整備事業	開港以来の異国情緒豊かな街並みや歴史的建造物などの歴史的資源を活かしたまちづくりを推進するため、景観条例に基づく景観の保存に取り組んできたほか、西部地区再整備事業基本方針を策定し、まちづくり会社と連携のもと、地区の魅力発信や関係人口増加を促すためのイベントを開催するとともに、歴史的建造物のリニューアルや事業者のマッチングを通して、民間事業者のさらなる関与の促進に努めている。	48,254	都市建設部	9
移住・関係人口	移住サポーターの設置	先輩移住者4名を移住サポーターとして委嘱し、移住相談者の身近な相談窓口や地域情報の発信者として協力してもらう	-	企画部	10
	お試し移住事業	移住検討者に対し、本市の生活環境を体験してもらうために宿泊料の一部を軽減し、移住相談窓口で対面による移住相談を実施することにより、移住に向けたフォローを行う。	1,567		
	移住支援金	函館市への移住・定住の促進および中小企業等における人手不足の解消に資するため、東京圏から函館市に移住して就業または起業しようとする者に移住支援金を交付	31,600		

キーワード	観光	部局	観光部
取組内容	<p>■函館山夜景魅力度向上事業（R6～）</p> <p>R6 取り組み</p> <p>①山頂の回遊性を高める実証実験</p> <p>混雑する山頂展望台以外のスポットで夜景を楽しんでもらうためにライトアップで演出</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 回遊性が高いモデル…トナム雲海テラス 	➔	<p>R7 取り組み</p> <p>①R6 取り組みの継続実施</p> <p>山頂展望台以外のスポットをライトアップ（3エリア）で演出</p> <p>②山頂整備に向けた調査</p> <p>市管理の漁火公園などで現況測量調査・地質調査を実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 実施期間：R7.9月～R8.3月
	<p>■オーバーツーリズム対策事業（R6～）</p> <p>R6 取り組み</p> <p>①函館山混雑状況配信システムの導入</p> <p>函館山の主要スポットにカメラを設置し、ネットやデジタルサイネージで混雑状況を配信</p> <p>⇒ R7.5月 5.2万アクセス（同月RW利用者8.3万人）</p> 		➔

キーワード	観光	部局	観光部
-------	----	----	-----

取組内容

■湯の川温泉の再興 (R7~)

現状・課題

- ・北海道三大温泉郷のひとつに数えられる名湯で、眺望と新鮮な海産物が人気の温泉地
 - ・団体向けの客室が多く、個人ニーズへの対応に遅れ
- ⇒ 利用客数が伸び悩んでいる状況



魅力の掘り起こし

リブランディングコンセプト(温泉=源泉回帰)

- ・歴史と伝統、高温の泉質
- ・独特のロケーション、アクセスの良さ

取り組み

- ・コンセプトに合った
- ・ショート動画の配信
- ・コンテンツ拡充



■グレーター函館(広域連携)の推進

広域観光連携

①新函館北斗駅広域観光推進協議会

- ・周遊パスの企画・販売 (R6販売枚数: 4,645枚)
- ・JR仙台駅でのプロモーションおよびエージェント訪問の実施


②道内外の自治体等との連携





- ・首都圏等でのプロモーション
- ・キャラクターを活用した観光キャンペーン

⇒ 周遊観光を促進し、宿泊数の増加を図る。



<p>キーワード</p>	<p>観光</p>	<p>部局</p>	<p>土木部</p>
<p>取組内容</p>	<div data-bbox="300 221 1636 292" style="background-color: black; color: white; padding: 5px;"> <h2 style="margin: 0;">湯の川地区活性化推進事業(R2-R11)</h2> </div> <div data-bbox="383 299 1605 492" style="background-color: yellow; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>事業目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民と観光客がともに集い、様々な交流や賑わいが生まれる ● 観光客の満足度が極めて高く、おもてなしに溢れる ● 海外からの観光客も安心して快適に楽しめる </div> <div data-bbox="1647 221 2009 492" style="text-align: right;">  </div> <div data-bbox="911 585 1398 692" style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>湯の川地区の再興に向け 整備を推進中</p> </div> <div data-bbox="300 492 2009 1378">  </div> <div data-bbox="880 1220 1388 1363" style="margin-top: 10px;"> <p>【主な整備】 ポケットパーク改修・シンボル看板設置 サクラ植樹・デザイン照明灯設置 歩道拡幅・ベンチ設置・歴史説明板設置</p> </div>		

キーワード	景観・街並み	部局	都市建設部
<p>取組内容</p>	<p>「箱館真景」1868年(明治元年・慶応4年) 著者/明細堂</p>  <p>歴史的資源を活かしたまちづくり</p>	<p>① 安政6年(1859年)箱館開港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異国情緒豊かな町並みの形成 ・函館独自の文化の発達 <p>② 歴史的な町並み景観の保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和63年景観条例制定 ・歴史的建造物の指定 ・所有者への支援制度の創設 <p>③ 人口減少, 空き家・空き地の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティの希薄化 ・歴史的建造物の空き家化 ・地区の活力低下 <p>④ 西部地区再整備事業基本方針の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共創によるコミュニティの形成 ・歴史的建造物の活用 ・地区の活性化 <p>⑤ まちづくり会社の設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の魅力発信, 関係人口増加のためのイベント開催 ・歴史的建造物のリノベーション ・事業者のマッチング <p>⑥ 民間事業者の関与を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者が主体となるイベントの開催 ・歴史的建造物の活用を促す支援制度の拡充 ・民間事業者による事業の推進(ソフト・ハード) 	<p>① 安政6年(1859年)箱館開港</p>  <p>② 歴史的な町並み景観の保存</p>  <p>③ 人口減少, 空き家・空き地の増加</p>  <p>④ 西部地区再整備事業基本方針の策定</p>  <p>⑤ まちづくり会社の設立</p>  <p>⑥ 民間事業者の関与を促進</p> 
	<p>地域の歴史と文化を未来へ紡ぎ, 居住と観光が融合した持続可能なまちづくり</p>		

キーワード	移住・関係人口	部局	企画部ほか
取組内容	<div data-bbox="321 239 430 299" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">移住</div> <div data-bbox="389 325 683 411" style="background-color: #00a651; color: white; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 主な取り組み </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 移住サポーター（先輩移住者）による相談対応，情報発信 ○ 移住者と地域住民等が集う移住者サロンの開催 ○ お試し移住事業 ○ 移住支援金 ○ 地域おこし協力隊制度の活用 ○ 移住サポートセンター（ワンストップ窓口）の設置 		
	<div data-bbox="321 682 518 742" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">関係人口</div> <div data-bbox="389 773 832 868" style="background-color: #00a651; color: white; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px;"> これまでの取り組みの例 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="flex-grow: 1;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ マラソン等スポーツイベント開催・支援 ○ 市営競輪事業の推進（関係者との連携等） ○ 芸術ホール・市民会館等での音楽・演劇関係者等の招聘 ○ 大学・高専等との研究・実証連携 ○ 本市出身者等とのつながり醸成（U I ターン促進・同窓会との連携） ○ ワークेशन受入促進 ○ 旅行会社等ファムトリップ受入 ○ コンテンツツーリズムの促進（ロケ地PR・作品との連動等） </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>		
これまでも関係人口に関する取組はあったが，統一的な視点では捉えてこなかった。 今後は「函館市人口減少対策本部」のもと施策を再整理し進化させる。			